

令和2年度 市政運営方針

3月3日(火)、令和2年第1回市議会定例会が開かれ、冒頭で安藤市長が令和2年度の「市政運営方針」に関する所信表明を行いました。
本市のまちづくりの道しるべともいえる市政運営方針の内容についてお知らせします。

私は、昨年11月に行われました市長選挙におきまして、市民の皆様との温かい御支援により、愛するふるさとのかじ取りを担うこととなりました。

初心を忘れず、湧き上がる情熱と決意を胸に全力で市政運営に取り組んでまいれる所存でございます。

今日、我が国においては、明治32年の統計開始以来、年間の出生数が初めて90万人を割り込むなど、少子化の流れが予想を超えるスピードで進行しているほか、経済のグローバル化や地球規模での環境問題の顕在化、ICT社会の進展など、社会構造そのものが大きな転換期を迎えております。

本市におきましては、豊かな自然と悠久の歴史に育まれ、多くの先人達の不断の努力により都市機能を集積し、県南地域の政治・経済・文化の中心として、着実に発展してまいりましたが、近年は、全国の地方都市と同様、財政再建やインフラの整備、地域商業の活性化、子育て支援、高齢化する社会の安全性の確保、農業の振興、企業誘致等々、多くの課題に直面しております。かつて、行き交う人の肩が触れ合うほどにぎわいをみせていた土浦駅周辺は、現在、当時の活力は失われていると感じているところです。

上記を実現するため、新年度から優先的に取り組む施策



企業誘致

企業に対する奨励金制度を積極的にPRし、トップセールスを行い、雇用の場の確保や地域経済の発展へつなげます。

また、流通拠点である土浦北インターチェンジ周辺地区につきましては、民間事業所等の立地促進を図るため、新たな県のプロジェクトを踏まえつつ、土地利用等の現状を把握し、立地を希望する企業のニーズ調査を行います。

さらに、スマートインターチェンジの整備に向けて、国、県、ネクスコ東日本等の関係機関に積極的に働きかけるとともに、接続箇所や整備効果の検証など、設置の可能性について調査を行います。



公共交通ネットワーク

公共交通不便地域の解消を図るために、コミュニティバスの試験運行に向けた調査を行います。



ごみ袋の有料化制度

有料化導入後のごみ量の推移やリサイクル率など、実績を取りまとめた上で、様々な人の意見を聞きながら、改めて手法や価格設定の見直しについて検討を進めます。

私は、土浦を「夢のある、元気のある土浦」に変えていきたいと思っています。このたびの市長選挙を通して、改めて市内をくまなく歩き、多くの市民の皆様の声に耳を傾け、これからのまちづくりについて熱く語り合い、その中で、「今の土浦を変えてほしい」、「元気のある土浦にしてほしい」など、たくさんの新しい市政への期待と激励の言葉をいただきました。

幸い、本市には、霞ヶ浦を含む水郷筑波国定公園、夢とロマンあふれる文化遺産、れんこん、花などの誇れる宝や大きな夏祭りを始めとする魅力あるイベント、さらには、「ナショナルサイクルルート」に指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など数多くの地域の宝があります。

今後、私がPRの先頭に立ち、情報発信を強力に進め、積極的に人、特に土浦を離れている若者が、再び土浦に集まる仕掛けを展開し、土浦の地域資源を有効活用して、多くの方に「土浦が楽しそうだ、そうだ、土浦に行ってみよう」と足を運んでいただき、活気あふれる元気なまちづくりに取り組みたいと考えております。

また、女性も男性も、高齢者も若者も、障害のある方も、市民の誰もが個性と多様性を互いに尊重し、それぞれの夢や希望がない、誰もが生きがいを感じ、その人らしく暮らせるまち、特に若者が、生まれ育った土浦への郷土愛を深め、「土浦に生まれてよかった、土浦で育ってよかった、結婚しても土浦に住みたい、土浦で子育てをしたい、土浦で最期を迎えたい」と心から誇りに思えるまちに変えていかなければならないと考えております。

本年7月には、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、およそ半世紀ぶりに聖火リレーが本市を訪れ、「希望の道をつなごう」のコンセプトの下、さまざまな人の思いをつないでいくこととなります。

また、今年は、昭和15年に土浦市が誕生して、市制施行80周年という大きな節目の年を迎えます。「これまでも、これからも、ずっと土浦」をメインテーマに掲げ、この記念すべき年を市民の皆様とお祝いするとともに、これまで先人たちが守り、育んできた土浦の魅力を再認識し、新たな未来を築いていけるよう精一杯努力してまいります。



保育サービスの充実

多様化する保育ニーズに対応するため、実績豊富な公立保育所の維持について検討します。

また、仕事と子育ての両立を支援するため、病後児保育を実施する民間施設に加え、病気の回復期に至らない児童を一時的に預かる病児保育に対応する医療機関に対し、補助を実施します。



子育て世帯に対する経済支援の充実

国の幼児教育・保育無償化の対象とならない住民税課税世帯の一部について、0～2歳までの子どもの保育料を見直します。



小児の医療福祉費支給制度（マル福）

子育て世代が安心して医療を受けることができる体制を確立するため、高校生の医療費について、県制度対象外である外来診療分及び所得超過世帯の入院診療分に対し、市独自の助成を行います。



土浦ブランドアッププロジェクト

認定品のふるさと納税返礼品への登録や販売拠点の確保、メディアとの連携などにより、土浦ブランドの付加価値を高めるとともに、更なる認知度の向上とセールの強化を図るため、私自らがトップセールスを行い、全国にPRします。



サイクリング環境の整備

年間8万人以上の方に利用される「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、本市の自転車環境を活用し、地域の活性化と自転車利用の普及を図るため、霞ヶ浦広域サイクルルーズの実施やサイクルサポートステーションの拡充など、自転車のまちづくり構想に基づいた施策を総合的かつ戦略的に展開します。

また、自転車のまちづくりを推進する全国の自治体に参加するシンポジウム「全国シクロサミット」を開催し、本市の自転車環境の魅力を広く発信します。



学校施設の環境整備事業

全校を対象に、快適で使いやすいトイレとするための環境整備に向け、新年度は、神立小学校、乙戸小学校、都和南小学校及び都和中学校の4校について、改修に向けた実施設計を行います。



新治運動公園の多目的広場の人工芝化

筑波山麓のすばらしい景色のもと、きれいに整備された芝生の上で一年を通してスポーツに親しむことができるよう、早期の人工芝化に向けて整備手法の調査に取り組みます。

令和2年度の主な施策の概要

①市民が主役の安心・安全なまちづくり

本市では、市民の誰もが安心して暮らせるまちを実現するため、東日本大震災時の教訓を基に自然災害への対応力を向上させるとともに、犯罪や交通事故を抑止し日常生活における安全性を高めるなど、災害や犯罪に強いまちづくりを進めています。引き続き、県内随一の組織率を誇る自主防犯組織を背景に、地域やボランティア、NPOなどの各種団体、事業所などとの連携協力により、市民が主役の安心・安全なまちづくりの対策を推進します。

- 防犯対策事業
- 地域防災対策整備事業
- 橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業
- 都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業
- ブロック塀等安全対策事業
- 常備消防車両更新事業
- 公共下水道雨水排水路整備事業

③活力とにぎわいのあるまちづくり

本市には、充実した都市機能と歴史に根差した商業をはじめ、創造性と技術力のある工業のほか、自然・歴史・文化・人を活かした観光、日本一の生産を誇るレンコンや花きなど特色ある農業、霞ヶ浦における漁業など多様な産業があります。これらの豊富な地域資源を活かし、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進します。

- 水郷筑波サイクリング環境整備事業
- 土浦ブランドアッププロジェクト推進事業
- 一般地帯土地改良事業
- わくわく茨城生活実現事業(移住・新規就業者支援事業)
- 中心市街地開業支援事業
- 第89回土浦全国花火競技大会開催事業
- まちなか定住促進支援事業
- 土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業

②心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり

本市では、「心の豊かさ」とたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり」を理念として教育文化行政を進めています。誰もが心身ともに健やかな生活を送るため、地域社会とのつながりの中で学び、スポーツや文化活動に参加できる、明るさにあふれた、心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくりを推進します。

- 東京2020オリンピック聖火リレー運営事業
- 教育委員会バス更新事業
- 就学前教育推進事業
- 道徳教育アドバイザー配置事業
- 小学校／中学校空調機器整備事業
- 学校教育施設長寿命化計画策定事業
- 小学校適正配置推進事業／上大津地区統合小学校整備事業
- 小学校／中学校施設環境整備事業
- 「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」統合調査事業
- 特別展・企画展事業(上高津貝塚ふるさと歴史の広場)市民会館耐震化及び大規模改造事業
- 重要資料公開推進事業(博物館)
- 新治運動公園整備事業(人工芝整備手法等調査他)
- 学校給食センター再整備事業

④ふれあいとあたたかいまちづくり

本市では、中学校区ごとのふれあいネットワークを軸に地域福祉を推進しています。地域社会の誰もが不安なく快適で安心・安全に暮らすことができ、市民一人ひとりが地域福祉の担い手となる、ふれあいとあたたかいまちづくりを推進します。

- 医療福祉費助成事業(市単独助成拡大)
- 結婚支援事業／結婚新生活支援事業
- 公立保育所民間活力導入事業
- 障害児保育推進事業
- 保育費用保護者負担金軽減事業
- 成人用肺炎球菌予防接種(特例対象者分)
- 風しん抗体検査・第5期予防接種
- フッ化物洗口普及事業
- 賦課徴収事業(オンライン資格確認等システム導入事業)
- 地域リハビリテーション活動支援事業
- 認知症施策推進事業

⑤ 環境を重視するまちづくり

本市は、霞ヶ浦や河川などの水辺により、特徴のある景観が形成されています。また、里山や筑波山麓の豊かな山林は、生態系を支える重要な役割を果たすとともに、本市の自然環境を特徴づける貴重な資源です。その豊かな自然環境をまちづくりの一つとして位置付け、人と自然が共生し、快適に暮らせるまちを目指し、環境を重視するまちづくりを推進します。

- 汚泥再生処理センター整備事業
- 公共下水道（污水）整備事業
- 配水管施設整備事業／老朽管更新事業

これらの施策を実現するための基本姿勢

「地域力」と「市役所力」が

一体となった協働のまちづくり

本市では、これまでの市民との協働によるまちづくりの成果により、市民の間に「協働」の意識が定着しつつあり、各般にわたりその広がりを見せてきています。「自分たちのまちは、自分たちで創る」という意識の下に、まちの主人公である市民、団体、事業者と行政が相互にパートナーシップを確立する、「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくりを推進します。

- シティプロモーション推進事業
- 地域公民館整備事業
- 協働のまちづくりファンド（ソフト）事業
- 第4次土浦市男女共同参画推進計画策定事業
- 市制施行80周年記念事業

⑥ 快適でゆとりのあるまちづくり

本市では、県内でも有数の都市集積を持ちながら、霞ヶ浦や筑波山麓などの豊かな自然環境を有しています。こうした地域資源を活かしながら、市街地の生活拠点等の充実とネットワーク化を進めることで、快適でゆとりのある都市空間の構築を目指します。

- 道路新設改良事業
- 地域公共交通確保維持改善事業
- 土浦北インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業
- 亀城モール整備事業
- 神立駅西口地区土地地区画整理事業
- 荒川沖木田余線（I期）整備事業
- スマートインターチェンジ設置可能性検討事業

行財政改革の推進と市民サービスの向上

本市では、持続可能な行財政基盤の確立を目指し、行財政改革を進めています。少子・高齢社会や人口減少社会の進展に対応しつつ、市民一人ひとりの夢と希望を実現していくための継続的かつ自立的な財政基盤の確立を目指し、行財政改革の推進と市民サービスの向上を推進します。

- ふるさと土浦応援寄付事業
- 財務システム更新事業